

第107回南あわじ市議会定例会議事日程（第6号）

令和3年12月21日（火）午前10時開議

- 第1 議案第76号、議案第82号～議案第84号、議案第89号、議案第95号（6件一括上程）
- 議案第76号 令和3年度南あわじ市一般会計補正予算（第6号）
- 議案第82号 令和3年度南あわじ市福良財産区特別会計補正予算（第1号）
- 議案第83号 令和3年度南あわじ市北阿万財産区特別会計補正予算（第1号）
- 議案第84号 令和3年度南あわじ市沼島財産区特別会計補正予算（第1号）
- 議案第89号 公の施設の指定管理者の指定について（淡路人形浄瑠璃館）
- 議案第95号 令和3年度南あわじ市一般会計補正予算（第7号）
- 第2 議案第77号～議案第81号、議案第85号～議案第88号、議案第90号～議案第94号（14件一括上程）
- 議案第77号 令和3年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第78号 令和3年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 議案第79号 令和3年度南あわじ市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第80号 令和3年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第81号 令和3年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第85号 令和3年度南あわじ市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第86号 南あわじ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第87号 南あわじ市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第88号 公の施設の指定管理者の指定期間の変更について（老人憩いの家ふくら荘）
- 議案第90号 公の施設の指定管理者の指定について（中央リサイクルセンター）
- 議案第91号 公の施設の指定管理者の指定について（きらら・ウインズ）
- 議案第92号 公の施設の指定管理者の指定について（国民宿舎慶野松原荘）
- 議案第93号 公の施設の指定管理者の指定について（バイオマス利活用施設）
- 議案第94号 公の施設の指定管理者の指定について（あわじ島まるごと食の拠点施設「農畜水産物飲食施設」）

第3 請願第2号、請願第3号（2件一括上程）

請願第2号 「重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書」採択を求める請願書

請願第3号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願

第4 発委第5号 離島振興法の改正・延長を求める意見書について

第5 発委第6号、発委第7号（2件一括上程）

発委第6号 重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書について

発委第7号 コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書について

第6 議員派遣の申し出

第7 議会運営委員会、常任委員会の閉会中の継続調査の申し出

令和3年12月16日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

総務文教常任委員会委員長 廣 内 孝 次



委 員 会 審 査 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第108条の規定により報告します。

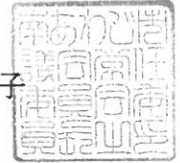
記

議 案 番 号	件 名	結 果
議 案 第 7 6 号	令和3年度南あわじ市一般会計補正予算（第6号）	原 案 可 決
議 案 第 8 2 号	令和3年度南あわじ市福良財産区特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 3 号	令和3年度南あわじ市北阿万財産区特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 4 号	令和3年度南あわじ市沼島財産区特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 9 号	公の施設の指定管理者の指定について（淡路人形浄瑠璃館）	原 案 可 決
議 案 第 9 5 号	令和3年度南あわじ市一般会計補正予算（第7号）	原 案 可 決

令和3年12月17日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

産業厚生常任委員会委員長 北 条 志 津 子



委 員 会 審 査 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第108条の規定により報告します。

記

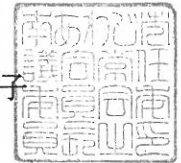
議 案 番 号	件 名	結 果
議 案 第 7 7 号	令和3年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 7 8 号	令和3年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 7 9 号	令和3年度南あわじ市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 0 号	令和3年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 1 号	令和3年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 5 号	令和3年度南あわじ市下水道事業会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議 案 第 8 6 号	南あわじ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議 案 第 8 7 号	南あわじ市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議 案 第 8 8 号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更について（老人憩いの家ふくら荘）	原 案 可 決

議 案 番 号	件 名	結 果
議 案 第 9 0 号	公の施設の指定管理者の指定について（中央リサイクルセンター）	原 案 可 決
議 案 第 9 1 号	公の施設の指定管理者の指定について（きらら・ウインズ）	原 案 可 決
議 案 第 9 2 号	公の施設の指定管理者の指定について（国民宿舎慶野松原荘）	原 案 可 決
議 案 第 9 3 号	公の施設の指定管理者の指定について（バイオマス利活用施設）	原 案 可 決
議 案 第 9 4 号	公の施設の指定管理者の指定について（あわじ島まるごと食の拠点施設「農畜水産物飲食施設」）	原 案 可 決

令和3年12月17日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

産業厚生常任委員会委員長 北 条 志 津 子



請 願 審 査 報 告 書

本委員会に付託の請願を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第138条第1項の規定により報告します。

記

請 願 番 号	件 名	結 果
請 願 第 2 号	「重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書」採択を求める請願書	採 択
請 願 第 3 号	コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	一部採択

発委第5号

令和3年12月21日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

提出者

総務文教常任委員会委員長 廣 内 孝 次



離島振興法の改正・延長を求める意見書について

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第109条第6項及び会議規則第13条第2項の規定により提出します。

離島振興法の改正・延長を求める意見書

離島においては、昭和28年に離島振興法が制定されて以来、離島振興政策が推進され、生活条件の改善、産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成が大きく進展した。

離島は、我が国の領域、排他的経済水域等の保全、海洋資源の利用、多様な文化の継承、自然環境の保全とあわせて、自然との触れ合いの場及び機会の提供、食料の安定的な供給等、我が国及び国民の利益の保護及び増進に重要な役割を担っている。

しかしながら、離島においては、厳しい自然的・社会的条件の下、人の往来、生活に必要な物資等の輸送に要する費用が他の地域に比較して多額であることのほか、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱といった本土との地域格差は、引き続き対応すべき課題である。また、人口減少や高齢化が進展するとともに、基幹産業である一次産業の停滞など、離島をめぐる状況は依然として厳しく、一層強力に離島振興政策を推進していく必要がある。

よって、国においては、現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長されるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月21日

兵庫県南あわじ市議会議員 谷 口 博 文

意見書提出先

衆議院議長	細 田 博 之 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-7-1
参議院議長	山 東 昭 子 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-7-1
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様 〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1
国土交通大臣	斉 藤 鉄 夫 様 〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3
内閣官房長官	松 野 博 一 様 〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

提出の理由

離島振興法が昭和28年に制定されて以後、全国の離島において離島振興事業が積極的に推進され、離島における生活条件の改善と産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成が進展してきたところであります。

しかしながら、離島であるが故の割高な生活コストや交通利便性の後退、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱といった本土との地域格差、人口減少や高齢化の進展、基幹産業の一次産業の停滞など、離島を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

南あわじ市においても、沼島地域の振興には「離島振興法」は必要不可欠であります。

よって、現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長されるよう強く求め、別紙のとおり意見書を関係機関に提出するものです。

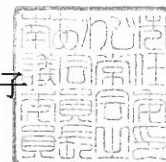
発委第6号

令和3年12月21日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

提出者

産業厚生常任委員会委員長 北 条 志 津 子



**重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書
について**

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第109条第6項及び会議規則第13条
第2項の規定により提出します。

重度障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大の脅威の中、あらためて医療提供体制の確立、医療関係法・制度の拡充の重要性が明らかになっている。とりわけ、障害者にとっては「健康に生きる」ことの願いが、コロナ禍を通して、これまで以上にその切実さを増している。

障害者医療をめぐるのは国の不十分な制度を補う形で、兵庫県でも重度障害者医療費助成制度が実施されている。この制度は、1960年代に自治体独自施策として実施され、いまではすべての自治体で実施され、障害者にとってはなくてはならない制度となっている。

本来、障害者医療は国の制度として実施されるべきものである。にもかかわらず、国に変わって実施している自治体に対し、窓口無料化は医療機関に受診する患者が増えて医療費が増大化するとして、ペナルティー制度（国民健康保険制度に対する国庫負担を減額する措置など）の制裁を加えており、このこと自体、本末転倒である。

新型コロナウイルス感染における最大の教訓として、医療提供体制の確立と医療関係法・制度の改正・拡充であり、この機に重度障害者医療費助成制度の国の制度化がきわめて重要な課題となっている。よって、下記の事項が国において速やかに実施されることを要望する。

記

1. 障害者医療費無料制度を国の制度として創設すること。その際、精神障害者・難病などを含む全ての障害者を対象にするるとともに、通院・入院ともに適用すること。
2. 重度心身障害者医療費助成制度に対する国のペナルティー制度を全廃すること。
3. 当面、重度障害者医療費助成制度に対し国の財政支援をおこなうこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月21日

兵庫県南あわじ市議会議長 谷 口 博 文

意見書提出先

衆議院議長	細 田 博 之 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1
参議院議長	山 東 昭 子 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様 〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
厚生労働大臣	後 藤 茂 之 様 〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

提出の理由

コロナ禍にあつて、とりわけ、障害者にとって「健康に生きる」ことの願いが、これまで以上にその切実さを増している。

重度障害者医療費助成制度は、自治体の独自施策として兵庫県をはじめ全ての自治体で実施されており、障害者にとっては無くてはならない制度となっているが、国は、実施している自治体に対して国民健康保険制度に対する国庫負担を減額する措置などのペナルティーを加えている。

本来、障害者医療は、国の制度として実施されるべきものであるので、この重度障害者医療費助成制度を国の制度として速やかに実施されることを要望するため、関係機関に意見書を提出するものです。

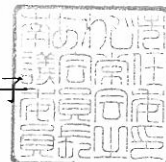
発委第7号

令和3年12月21日

南あわじ市議会議長 谷 口 博 文 様

提出者

産業厚生常任委員会委員長 北 条 志 津 子



コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書について

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第109条第6項及び会議規則第13条第2項の規定により提出します。

コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の減少で2020年産米の過大な流通在庫が発生しました。しかし、政府の打ち出した36万トンの上乗せ「減反」をほぼ達成したにもかかわらず、2021年産米の市場価格は暴落しました。

コロナ禍の需要減少による「過剰在庫」分は、国が責任をもって市場隔離すべきであり、その責任を生産者・流通業者に押し付けることは許されません。政府による緊急買入など特別な隔離対策が絶対に必要です。

政府は、「市場隔離と同等の効果を持つ」対策として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」の20年産米37万トンの中から15万トンを特別枠として支援するとしています。しかし、仮に15万トンの販売が22年11月以降に先送りされたとしても、古古米として安い主食用米が市場に出回ることになります。

同時に、国内需給には心要がないミニマムアクセス輸入米は、毎年77万トンも輸入されています。国内消費量はミニマムアクセス米輸入開始以来の26年間で4分の3に減少したにもかかわらず、一切見直されていません。せめてバター・脱脂粉乳並みに不要なミニマムアクセス米の輸入数量を調整するなど、国内産米を優先することが必要です。

全国各地で取り組まれている食料支援には、収入減で「1日1食」に切り詰めるなど、「食べたくても食べられない」方が多数訪れ、米をはじめとする食料配布が歓迎されています。買い入れた米を政府の責任で困窮する国民に提供することが、今こそ求められています。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められます。

以上の趣旨から、下記の事項が速やかに実現することを強く要望します。

1. コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。
2. 政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援で活用すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月21日

兵庫県南あわじ市議会議長 谷 口 博 文

意見書提出先

衆議院議長	細 田 博 之 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1
参議院議長	山 東 昭 子 様 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-7-1
内閣総理大臣	岸 田 文 雄 様 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一 様 〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
農林水産大臣	金 子 原 二 郎 様 〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

提出の理由

コロナ禍にあつて、２０２０年産米において過大な流通在庫が発生したことにより、２０２１年産米の市場価格は暴落し、農業者は、かつて経験したことのない危機な事態に見舞われている。

これらの農業者の経営と地域経済を守るため、従来の政策的枠組みにとらわれない対策を国において速やかに実現するよう強く要望するため、関係機関に意見書を提出するものです。

議 員 派 遣 申 出 書

令和3年12月21日 定 例 会

次のとおり、地方自治法第100条第13項及び会議規則第162条の規定により議員を派遣する。

1 南あわじ市賀詞交換会

- (1) 目 的 交換会
- (2) 派遣場所 ホテルニューアワジプラザ淡路島
- (3) 期 間 令和4年1月4日
- (4) 派遣議員 全議員

2 南あわじ市消防団初出式

- (1) 目 的 初出式
- (2) 派遣場所 三原健康広場グラウンド
- (3) 期 間 令和4年1月9日
- (4) 派遣議員 議長、総務文教常任委員

3 2021年南あわじ市成人式

- (1) 目 的 成人式
- (2) 派遣場所 文化体育館
- (3) 期 間 令和4年1月9日
- (4) 派遣議員 議長、総務文教常任委員

4 2022年南あわじ市成人式

- (1) 目 的 成人式
- (2) 派遣場所 文化体育館
- (3) 期 間 令和4年1月10日
- (4) 派遣議員 副議長、総務文教常任委員

5 東播・淡路市議会議長会定例会

- (1) 目 的 定例会
- (2) 派遣場所 うるおい交流館エクラ
- (3) 期 間 令和4年1月18日
- (4) 派遣議員 正副議長

6 東京都荒川区議会建設環境委員会行政視察受入

- (1) 目 的 行政視察受入
- (2) 派遣場所 イングランドの丘事務所
- (3) 期 間 令和4年1月24日
- (4) 派遣議員 議長、産業厚生常任委員長

7 愛媛県西予市議会だより編集委員会行政視察受入

- (1) 目 的 行政視察受入
- (2) 派遣場所 議員協議会室
- (3) 期 間 令和4年2月7日
- (4) 派遣議員 議会広報広聴常任委員長

令和3年12月21日

南あわじ市議会

議長 谷 口 博 文 様

議会運営委員会

委員長 長 船 吉 博



閉 会 中 の 継 続 調 査 申 出 書

本委員会は、所掌事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、会議規則第109条の規定により申し出ます。

記

1. 事 件

- (1) 議会運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項

令和3年12月21日

南あわじ市議会

議長 谷 口 博 文 様

総務文教常任委員会

委員長 廣 内 孝 次



閉 会 中 の 継 続 調 査 申 出 書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、会議規則第109条の規定により申し出ます。

記

1. 事 件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

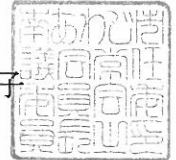
令和3年12月21日

南あわじ市議会

議長 谷 口 博 文 様

産業厚生常任委員会

委員長 北 条 志 津 子



閉 会 中 の 継 続 調 査 申 出 書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、会議規則第109条の規定により申し出ます。

記

1. 事 件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

令和3年12月21日

南あわじ市議会

議長 谷 口 博 文 様

議会広報広聴常任委員会

委員長 吉 田 良 子



閉 会 中 の 継 続 調 査 申 出 書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、会議規則第109条の規定により申し出ます。

記

1. 事 件

- (1) 議会広報誌に関する事項
- (2) 議会報告会に関する事項
- (3) 議会ホームページに関する事項
- (4) 議会ライブ配信、録画配信に関する事項
- (5) その他議会広報広聴活動に関する事項